# 工業つ子

No.122
—発行日—
2015.10.30
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部


## NK科のプライドをかけて 熱戦・激戦・大奮戦 機械科2連覇！

十月十日に行われた体育祭。今年は土曜開催となり、昨年よりも多くの観客が見られました。一、二年生全員で作り上げた組体操や各科対抗の競技やパレードなど大いに盛り上がりました。体育祭を終えての感想を各科代表生徒にインタビュー。

質問内容
①感想
②出来は何点ですか
③悔しかったこと
④一番の収穫は何ですか。
⑤一二年生に向けて一言

▶勝利を全身で喜ぶ

▲皆の力を綱にこめて

### 総合一位 王者の風格 機械科

①目標としていた二連覇を達成できてほっとしている。
②九十点。
③パレードと応援幕で賞が取れなかった。
④科全体が団結できたことです。
⑤来年はパレード優勝、応援幕優勝、行進優勝の完全優勝を目指して頑張ってください。

◀出だしから大技

▼全速力で１００ｍ

### 総合二位 優勝一歩及ばず 建築科

①一位を目指していたので悔しかったけど、団結して二位をとれて嬉しい。
②八十点。
③パレードと応援幕がもっと上位にいけると思ってたので悔しい。
④一、二、三年生とコミュニケーションをとって団結し、科の仲を深められた。
⑤来年は是非一位をとってほしい。

### 総合三位 行進一位奪還ならず 電気科

①優勝出来なかったことは悔しいけど、精一杯できたので良かった。
②百点！
③行進で優勝出来なかったこと。
④パレードが思いのほかウケていた。
⑤楽しんでやってください。

### 二冠の玉座譲らず インテリア科

①目標だった2冠を二年連続達成できたのでよかった。
②百二十点。
③総合優勝できなかったことです。
④科全員が仲良くなれたことが一番の収穫。
⑤総合優勝できるように頑張って！

### 声も大きく！行進一位 機械システム科

①際で勝てて良かった。テーマ「際」を成し遂げた。
②際まで攻めたから点数はなし。
③パレードの際で負けたこと。際すぎた。
④「際」の強さを知ることができたこと。
⑤ついてきてくれてありがとう。「際を制す者は体育祭を制す」

### 神龍登場！ 工業化学科

①終わった～って感じ。
②十点満点中七百点。
③パレードで優勝できなかった。
④行進頑張った。
⑤頑張れ、オー！

### 次世代に思いを託し 電子工学科

①唯一の女子がいなくて寂しく本領が発揮できなかった。
②六十五点（一年生は満点）。
③全員で参加できなかったこと。
④協力の難しさ。
⑤来年見に来るので自分たちが出来なかった、団結した姿をみせてほしい。

### あたらしいJ科はじまる 情報技術科

①疲れた。
②九十点。
③賞を獲れなかったこと
④団結力が高まった。
⑤来年頑張れ！

## 各部門の優秀賞

▶機械システム科

▲インテリア科▶

## 今日の一枚 ～秋盛～

▼季節の移り変わり…

このところ風邪で鼻水や咳が止まらない人が多いようです。
今日の一枚は金木犀です。最近冷たい風と共に運ばれてくることが多いこの花の香り。とても甘く良い香りがします。何だか落ち着く気がするこの香りに接すると「秋になったんだなぁ」と思います。そのせいか、どこか特別なものに感じられます。季節によって一見普通なものも特別なものに感じるのは日本人だからこそなのでしょうか。
（溝上）

## 青春日記♪

こんにちは。先日の体育祭お疲れ様でした。数々の失格があったものの、実行委員を中心に進めた今回の体育祭は、活気に溢れ、とても賑やかなものとなりました。
さて、前号、大障害走で上位を狙うと意気込んだ私でしたが……。私の決大障害、断トツ最下位。入りきれてない上に、じぐざぐに飛ぶせいで無駄な体力を消費。挙句の果てにお菓子はとれない。何とかゴールまでたどりついたもののなんと結果は「失格」。本部前での孤独な闘いに疲れ、つい、お菓子を手で取ってしまったのです。ああ、前号の自信に満ち溢れた私を殴りたい。クラスメイトからは「三年連続出場するんでしょ？」なんて言われましたが、来年の出場は少し考えようと思います。
さて、話は変わって文化の秋真っ只中ですね。三年に一度の工業展が間もなく開催されます。私たちＪ２は「綿菓子」の販売を行います。只今、絶賛調整・準備中。何度も試作を重ねて一番良い方法を模索していき、そこで出来た「綿あめちゃん」をばくり。とろける食感に、ひろがる甘味でつい頬が緩む。これで少量のだからめで出来てしまうのだから…。是非、一度お立ち寄りください。
ふと、今までの青春日記を読み返してみると、「食べる？体張る」の内容ばかり。たまにはきゆんとくるような青春を書いてみたい…と、話題のオリオン座流星群を見ようにも夜空は一面の曇り空。「あれ？青春ってなんだっけ？」雲越しの星に問いかけます。
（松尾）

## 無知

まもなく私たちの手元に届くというマイナンバー。皆さんもご存じと思います。しかし、言葉だけは知っていても内容まで詳しく知らない人もいるのではないでしょうか。実は僕もその一人。マイナンバーに限ったことではなく、「アイデンティティ」や「メディアリテラシー」「コンプライアンス」など何だかよく目にするような言葉ですが、具体的にはよくわかりません。
かの有名な哲学者のソクラテスは「無知は罪なり、知は空虚なり、英知持つもの英雄なり」と言いました。一般常識の欠落、世の中の話題を知らないなど…「無知」と言われてしまう事柄はたくさんあります。しかし、人は自分が無知であるということに自分自身ではなかなか気づけません。思い込みとは恐ろしいもので、自分の知識を疑いません。他人からの指摘や外部からの刺激で気づきます。私は中学生の頃まで「オレンジ」とは単純に「蜜柑」を英訳したものと思っていました。友達に指摘されて辞書を見ると日本の温州蜜柑の英訳は「マンダリン、サツマ」などとありました。
知らなかったことで損をしたり、失敗してしまうのは事実。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥です。人間は誰しも無知から始まります。無知は、学べばいいだけです。大事なのは世の中には自分が知らないことがあることを自覚すること、時に無知が危険を招くこと があることを心に留めておくことだと思います。わからないところがあっても、周りには教えてくれる人はたくさんいます。勇気を出して、昨日までの無知な自分とはさよならしましょう。
ただ、知ることばかりを追い求めていては知識だけの頭でっかちになります。大切なのは知識を得る努力とそれを活用していく努力です。（岡本）

# 今年も九州大会出場決定!!
# 高校生溶接競技大会

九月二十七日(日)に佐世保高等技術専門校にて開催された「長崎県高校生溶接技術競技大会」。この大会に今年は本校から男子十六名、女子二名の計十八名の生徒が選手として出場の切符を手にしました。

**◆競技前、意気込み十分**

大会当日。会場の佐世保高等技術専門校に取材に赴くと開会式を終え、いよいよ競技開始を迎えようとするところでした。競技直前で選手全員が緊張した趣と思いきや、テスト前ということもあり勉強をやっている選手が多数いました。

そんななか、選手たちは「練習の成果を出す」「自分の本気を出し切りたい」など気合十分の意気込みを語ってくれました。

**◆競技開始、鉄板に集中**

競技本番、さっきまでの和やかな雰囲気とは一転、鉄板に一対一で向かい合う姿からは有無を言わせぬ迫力が伝わります。競技は限られた時間の中、一列に並んだブース溶接して完成グループごとに次々と展示されていきます。選手たちは展示された作品を前に、反省点を見つけたり、互いの作品を講評したりしていました。

▲鉄板と一対一で向き合う姿

**◆競技終了後の感想は…**

「悔いが残った」「あんまり良くない」と悔しそうな顔で競技を振返る選手がいる一方で、「練習通りの成果が出せた」「学校よりしやすかった」と清々しい顔の選手もいました。

**◆競技の結果**

▲見事１位！！谷内くん

大会後、外観と曲げの審査を経て、後日通知された結果はＰ３谷内司さんが１位、Ｐ２田中祐太さんが３位、Ｍ２野崎徹さんが９位。また女子の部でＩ３木口佳穂さんが１位。九州大会出場を決めました。結果を受け、それぞれ「２連覇出来て嬉しい。九州大会では昨年よりも上を目指す」(谷内)「思ったよりも順位が良かった。九州大会は団体優勝する」(田中)「練習の成果を出せず不甲斐ない。九州大会では頑張って全力を出し、上位に食い込む」(野崎)「不安だったけど女子１位になれて良かった。九州大会は県大会よりも良い結果を残す」(木口)と感想と次に向かっての抱負を語ってくれました。

九州大会は十一月八日宮崎県で行われます。健闘を祈っています。

▲失敗できない一発勝負

## かんちがい てふ工生!!! パート②
～最近、物がなくなる事件～

※実際には一つしかありません

※物がなくなるわけですね（笑）

## 渋く日本の秋
### ―緊張の中、お点前披露
茶道同好会
連合茶会

▼お茶を運ぶ長工生

十月四日に長崎歴史文化博物館にて連合お茶会が開かれました。

このお茶会は茶道部にとっては、他高校の人と共に校外でお点前を披露する年に一度の大きなお茶会です。

会場には茶道をたしむ人や、歴史文化博物館に訪れた人など、様々な人がお茶会に参加。学生を中心にお点前を披露したり、お茶やお茶菓子をふるまっていました。

当日、長工代表でお点前を披露したＡ３橋本さん。今回も新聞部としてお参加させていただきましたが、茶道の知識が全くない私でも、お手前がとてもきれいだと感動しました。指先まで神経を集中させ、一つ一つの動作に気を配り、とても美しかったです。

お点前終了後話を聞いてみると、「本番でお湯がぬるいというハプニングが起こりとても焦りました。緊張はしていましたが、部活で練習していた通りにすることが出来ました」とほっとした表情で話してくれました。

また、指導者の先生方に感想を聞いてみると「いつも通りに出来ていた」「緊張していたけど良くやれていた」とコメント。

このお茶会は終了してしまいましたが長工の工業展でも茶道部によるお茶会が開かれます。ぜひ参加してみてはいかがでしょうか。

▲お点前をした橋本さんお運びをした

▲美しい仕草、真剣な眼差し

## 真摯な取り組みが大切 by校長先生

先のロボコンの大会の時、校長先生が次のような話をされていました。

「真摯にものづくりに挑んだかが勝利に繋がる。ロボット班もマイコン班も一から作っていて、とてもよくやったと思う。ものづくりの技術が上がっていっていると思う。これからも技術を身につけていってほしい」と。

私達も工業生として真摯にものづくりに取り組みたいと思います。

## シリーズ ロボコン道⑩
## 新体制

大会が三位という結果で終わってしまった私たち。大会が終わったということは三年生の先輩は引退。そして新部長と新副部長が決定！今回は新リーダー二人へのインタビューです。

**Ｑ部長・副部長となった気持ちを一言どうぞ！**

―務まるかどうか不安もあるが頑張っていきたい。（部長・Ｍ２越川駿平君）

―しっかり部長をサポートしていきたい。（副部長・Ｅ２山本）

**Ｑ目標をお願いします。**

―打倒大工！（部長）

―大会当日までに全て完璧に完成。（副部長）

士気は上々。このやる気が来年まで続くようにモチベーションを維持していきたいと思います。（草場）

↗副部長と部長です。↖

## ようこそ長工へ
### 気さくで親しみやすいカーリー先生

二学期から長工のＡＬＴとして日本に来られたカーリー先生。体育祭にも積極的に参加されていた先生にインタビュー。

**Ｑ日本に来た理由**

―教育を通じて平和と理解を深めるため。皆と仲良くなって私の文化を皆と共有したい。

**Ｑ日本の印象**

―人々が親切。食べ物がおいしい。自然が美しい。

**Ｑ長工の印象**

―私はこの高校が大好き。先生も生徒も皆素晴らしい。

**Ｑ体育祭はどうでしたか**

―アメリカとは全てが違った。アメリカの高校でも体育祭をやってほしいと思った。

**Ｑこれからの目標**

―日本語が上手になりたい。

**Ｑ長工生へ一言**

―アメリカに来て！インタビューは何とか英語で質問して、その答は英語で書いて頂いたのですが、文字からも楽しげな雰囲気が伝わってきました。

カーリー先生、よろしくお願いします！

▲笑顔の素敵なカーリー先生

## 一年生な☆日々

入学して約半年。段々と寒くなってきました。そんなわけで学ランを着用。もうそんな時期なのかと、時の流れの速さに驚かされます。

さて、体育祭。インドア派の私にとって少々雲の かかった絶好の日和でした。やる気も出てきました。ところがそんな中、新聞部員の一年生の一名が高熱で早退。そして、もう一人が競技中に怪我を…。ここは私が頑張るしかない。しかも大将騎馬の上です。騎馬戦は小学校以来。練習の時は散々やられました。しかし、そこは情報技術科。練習で上達できない作戦は話すと長くなるので割愛します。結果、予行の時に散々負けたインテリア科に見事、勝利！初勝利にみんなですごく喜びました。次の建築科には負けてしまいましたが、初戦敗退を免れたので嬉しかったです。勝つのは当たり前なんですけどね。

初めての高校の体育祭。組体操や、新聞部としてのカメラウンドを駆け巡り撮影をした事など、沢山の思い出が出来ましたが、個人的には騎馬戦の勝利が印象に残っています。来年もやれたら、次は一位を狙いたいものです。

## 編集後記

今回は体育祭特集と工業展号外と工業展準備といろんなことを並行してやらねばならず、私自身溶接大会という大きな記事を書きとても大変でした。この疲れを今週の土日の工業展で吹っ飛ばすと共に、皆さんの笑顔をカメラに収め最高の記事を書きたいと思います。